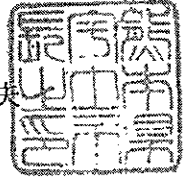


宇市土第444号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

宇土市長 田口信夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

担当 建設部土木課
電話 0964-22-1111

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点, 要望や提案など

熊本県宇土市

〈要望〉

1. 地方の道路整備は遅れているとの認識をもっていただきたい。
1. 道路整備の必要性は, 地域の人口減少, 高齢化を阻止する効果があることを認識すること。
1. 道路中期計画を確実に実行すること。
1. 上記計画に路線, 延長及び整備予定期間を明記すること。
1. 道路特定財源の一般財源化という方向性が決定されているが, 道路以外に活用することは, 極力さけるべきであること。
1. 昨今の道路行政は先行き不透明感が強く, 率直に不信感がある。決定した政府案を着実に実行してもらわなければ, 地方の不満は限界に達していることを強く認識していただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

熊本県宇土市

○ 現状

本市では現行総合計画（後期基本計画）の主要テーマを「定住と交流の都市づくり」と定めている。

そのような中で、居住空間の整備、都市空間の整備をいくら進めても、交通環境が整わなければ何の進展も図られない。

○課題

本市においては、ＪＲによる鉄軌道と道路の利用が主な移動手段であるが、１時間に２～３本というＪＲの運行状況を見れば、日常生活・物流のほとんどを道路輸送に依存しなければならないというのが実情である。

今まで関係機関への改善要望を行なうとともに、市においても市街地環状道路の整備等に行い、積極的にこの問題に取り組んできた。

そのような中、次の２点について早急に解決すべき課題と捉えている。

- ① 渋滞による経済的損失の解消
- ② 自然災害に強い道路の整備

②－２ 地域を目指すべき将来像

熊本県宇土市

課題として２点挙げさせていただいたが、道路の整備は、医療圏の拡大を沿線住民の福祉の向上、利便性の向上のみならず、沿線の土地利用をはじめとする地域経済に大きな波及効果を生み出し、地域間競争をも左右する大きな材料となるものである。また、県都との時間距離の短縮は、人口減少・流失・高齢化への歯止めにも最も効果的である。「定住と交流」を進めている本市としては、課題の早期解決を目指し積極的に取り組むとともに、関係機関の協力をお願いするものである。

①渋滞による経済的損失の解消

本市中心部における渋滞解消のために、国道３号の熊本市川尻町～宇土市松原町の４車線化は既に完了し、宇土市松原町以南の４車線化も今年度中に完了する予定である。残るは、国道５７号の宇城市三角町～宇土市松原町の交通渋滞の解消であり、このためには国道５７号のバイパス機能を持つ、地域高規格道路「天草熊本幹線道路」の早急な整備が必要である。

②自然災害に強い道路の整備

国道５７号は、自然災害による通行止がしばしば発生しており、その都度、周辺地域は陸の孤島となっているのが現状である。また本国道は天草地域の人達にとって最も重要な動線の一つであるために、自然災害に強い道路の整備が急務である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例，期待する効果や評価等）

熊本県宇土市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・都市交通の快適性，利便性の向上	地域道路「熊本天草幹線道路」の早期整備 ・熊本宇土道路の早期供用開始 ・宇土市城塚町～宇土市網田町区間の整備区間への格上げ ・宇土市網田町～宇城市三角町区間の調査区間の指定	・インター予定地（城塚町・網田町）周辺の土地利用の高度化 ・救急医療の迅速化 ・本市中心部の交通渋滞の解消とそれによる市街地の都市環境の改善	
・水害等の災害に強い国土づくり	国道５７号の改善（災害対応） ・宇土市赤瀬町地内での法面強化 ・宇土市網田町地内での道路冠水の解消	・宇土市民のみならず，天草地域住民を含めた生活の安定 ・経済活動の安定性の確保	